

ほげだより 3月

太陽の子保育園平成15年3月

梅の花が咲き、木々の芽もふくらみ暖かい陽ざしに春の訪れを感じるようになりました。でもまだ寒い日があったり気温差が激しく体調を崩しやすい季節でもあります。一年間の締めくくり、また年長さんは園生活最後の一ヶ月の大切な月となり元気に過ごしてほしいと思います。



< 進級・入学にむけて! >

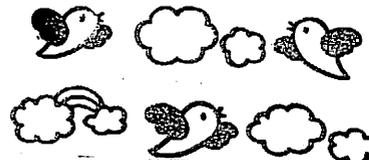
—— 見直してみましよう! 今の生活をチェック! ——

- ◆ 早寝・早起きの習慣は身についていますか。
- ◆ 朝食をしっかり食べてから登園させていますか。
- ◆ 朝、登園前にトイレにいかせていますか。
- ◆ 予防接種は計画的に受けていますか。
- ◆ 目・耳・鼻・皮膚などに異常はありませんか。
- ◆ 虫歯はありませんか。



子どもたちが毎日楽しく、元気に過ごすためにも大切なことです。正しい生活習慣を身につけ、しっかり治療をしましょう。

3月3日は耳の日です。



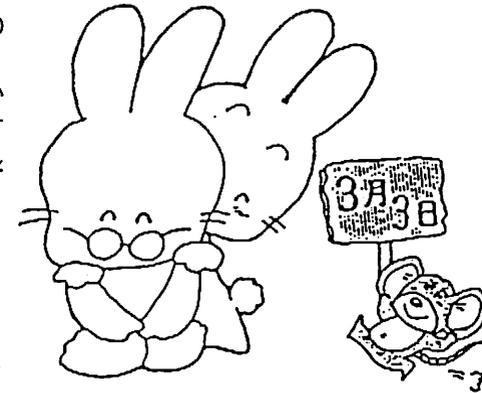
お子さんの耳は大丈夫ですか?

耳・鼻・のどは耳管というクダでつながっています。子どものうちは、耳管が太くて短く、水平に近いので、鼻やのどについている細菌が耳管を通過して耳の中に入り、中耳炎の原因になることもあります。

かぜの病後には耳の痛みに注意!

急性中耳炎

は風邪などの感染症の後、鼻・のどなどにつながっている耳管から菌が中耳に入り、発病します。膿汁がたまり、激しい痛み、発熱、耳だれ等の症状がでます。



滲出性中耳炎

は中耳に水がたまる病気で、痛みはありません。鼓膜のひびきが悪くなり、聞こえが悪い、耳の詰まった感じ、自分の声がひびくといった、はっきりしない難聴の症状が続きます。

夜中に急に耳の痛みを訴える時は

鎮痛剤を飲ませ痛みを抑え、翌日早めに耳鼻科を受診しましょう。冷やしすぎると、かえって痛みが強くなったり、中耳内を通過している顔面神経に悪い影響を与えることがあるので注意しましょう。(鎮痛剤は、小児科でもらったものがあれば、それを飲ませるのが最も良い。解熱剤も鎮痛作用があります。)

※ 中耳炎はきちんと治療しましょう。難聴になることもあります。通院は程度によりますが、10日～14日前後かかります。また最初の内は、毎日通院するようになったり、薬も一定期間必ず飲まなければならないこともあります。症状が軽いからと素人判断で通院をやめたり、薬を飲まなかったりせず、きちんと治しましょう。